



2026年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月12日

上場会社名 株式会社アクシージア 上場取引所 東
 コード番号 4936 URL <https://axxia.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 段 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 福井 康人 TEL 03 (6911) 3899
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年7月期第3四半期の連結業績（2025年8月1日～2026年4月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第3四半期	9,886	△1.9	△48	—	132	△61.3	30	△85.7
2025年7月期第3四半期	10,080	10.6	426	△55.3	342	△70.3	211	△74.0

（注）包括利益 2026年7月期第3四半期 246百万円（169.0％） 2025年7月期第3四半期 91百万円（△90.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第3四半期	1.32	—
2025年7月期第3四半期	8.99	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期第3四半期	9,651	7,600	78.7
2025年7月期	9,567	7,575	79.1

（参考）自己資本 2026年7月期第3四半期 7,591百万円 2025年7月期 7,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2026年7月期	—	5.00	—	—	—
2026年7月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	0.2	△250	—	△34	—	△105	—	△4.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年7月期3Q	24,107,000株	2025年7月期	24,107,000株
② 期末自己株式数	2026年7月期3Q	1,236,600株	2025年7月期	1,236,600株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年7月期3Q	22,870,400株	2025年7月期3Q	23,512,173株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3

「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年8月1日～2026年4月30日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方で、中東情勢の緊迫などを背景とした物価上昇の影響等もあり、足元では消費者の節約志向の高まりもみられました。

国内化粧品市場は、引き続き堅調に推移いたしました。インバウンド消費については、為替相場が円安水準で推移したことが下支えとなり、訪日外客数全体は好調に推移いたしました。一方で、11月以降、中国政府による渡航自粛要請等の影響により、中国からの訪日外客数が減少したほか、中国人旅行者による消費も減速いたしました。

中国化粧品市場においては、消費の回復がみられているものの、中国ローカルブランドの台頭による競争激化等を背景に、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループでは、メイン市場である中国市場において更なる売上拡大を図るとともに、日本をはじめとした中国以外の地域における事業基盤確立及び販売強化を進めてまいりました。

中国においては、主力製品である「AGドリンク」及び「ザ ピュア ドリンク」の更なる売上拡大を図るとともに、中価格帯インナーケア新製品「PQドリンク プラス」の育成に取り組んでまいりました。また、同じく販売強化している「AGTHEORY（エイジーセオリー）」化粧品シリーズの内の一つ、「UVプロテクションクリーム」にて、効果・効能を謳うことができる特殊化粧品の行政認可登録を行う等、中国市場における更なるブランド力向上に努めてまいりました。

日本国内においては、「LisBlanc（リスブラン）」を日本における注力ブランドと位置づけ、まずはブランドコンセプトを刷新、よりお求めやすい価格に改定し、10月より、化粧品専門バラエティショップ中心に販売チャネルを拡大するとともに、ブランドアンバサダーの起用やSNSにてインフルエンサーとのタイアップ等を実施し、ブランド認知度の拡大に取り組んでまいりました。また、3月には直営店なんばCITY店を新規オープンし、国内外の幅広い顧客層に向けたタッチポイント拡大に取り組んでまいりました。連結子会社である株式会社エムアンドディにおいては、同社初の自社ブランド「BELLE BAI（ベルバイ）」を上市、ショッピングセンターへのPOPUP出店等を実施し、売上拡大に努めてまいりました。同社においては化粧品輸入販売から自社ブランド製品の販売にビジネスモデルを転換することで、グループシナジーの追求、利益率の向上を図っております。

その他の地域においては、東南アジアを中心に、インフルエンサーを起用したライブ販売を積極的に実施し、ECにおける販売を強化するとともに、百貨店におけるPOPUP出店等、販路の拡大にも取り組んでまいりました。

以上の結果より、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、次のとおりとなりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、中国EC売上の一部成長鈍化や、エムアンドディ社の円安影響を踏まえた価格改定等の影響により、9,886,864千円（前年同四半期比1.9%減）となりました。また、注力領域への人員増加、広告投資の継続等により、営業損失は48,664千円（前年同四半期営業利益426,287千円）、経常利益は132,526千円（前年同四半期比61.3%減）となりました。

以上の結果により、親会社株主に帰属する四半期純利益は30,243千円（前年同四半期比85.7%減）となりました。

なお、当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

[業績の概要]

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減率
売上高	10,080	9,886	△1.9
営業利益又は営業損失(△)	426	△48	—
経常利益	342	132	△61.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	211	30	△85.7

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて84,091千円増加し、9,651,709千円（前連結会計年度末比0.9%増）となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて60,123千円増加し、7,606,318千円（前連結会計年度末比0.8%増）となりました。主な要因は、現金及び預金の273,256千円増加、売掛金の31,388千円減少、商品及び製品の193,640千円減少、その他の25,598千円増加等によるものであります。また、固定資産は、前連結会計年度末に比べて23,968千円増加し、2,045,390千円（前連結会計年度末比1.2%増）となりました。要因は、有形固定資産が17,162千円減少及び無形固定資産が30,325千円減少し、投資その他の資産が71,456千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて58,654千円増加し、2,051,179千円（前連結会計年度末比2.9%増）となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて108,372千円増加し、1,836,897千円（前連結会計年度末比6.3%増）となりました。主な増減要因は、買掛金が44,071千円減少、1年内返済予定の長期借入金が62,652千円減少、未払法人税等が64,977千円増加したこと等によるものです。また、固定負債は、前連結会計年度末に比べて49,718千円減少し、214,282千円（前連結会計年度末比18.8%減）となりました。主な要因は、長期借入金が37,908千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて25,437千円増加し、7,600,530千円（前連結会計年度末比0.3%増）となりました。主な増減要因は、配当金の支払い228,704千円、為替換算調整勘定の増加218,279千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益30,243千円を計上したことによる利益剰余金の増加等によるものです。

なお、自己資本比率は78.7%（前連結会計年度末は79.1%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年6月12日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,990,101	4,263,357
売掛金	930,811	899,422
商品及び製品	1,674,161	1,480,521
仕掛品	5,664	13,988
原材料及び貯蔵品	267,859	255,603
未収還付法人税等	16,800	5
その他	673,172	698,770
貸倒引当金	△12,375	△5,351
流動資産合計	7,546,195	7,606,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	719,331	718,791
リース資産 (純額)	108,733	92,425
土地	396,595	396,595
その他 (純額)	192,982	192,668
有形固定資産合計	1,417,643	1,400,481
無形固定資産		
のれん	104,621	83,221
その他	107,371	98,445
無形固定資産合計	211,992	181,667
投資その他の資産		
繰延税金資産	237,808	296,263
その他	153,977	166,978
投資その他の資産合計	391,785	463,242
固定資産合計	2,021,422	2,045,390
資産合計	9,567,617	9,651,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	225,019	180,948
短期借入金	449,481	470,000
1年内返済予定の長期借入金	133,472	70,820
未払金	531,448	536,461
未払法人税等	101,720	166,698
賞与引当金	44,907	85,358
株主優待引当金	16,908	7,560
その他	225,565	319,050
流動負債合計	1,728,524	1,836,897
固定負債		
長期借入金	168,458	130,550
その他	95,542	83,732
固定負債合計	264,000	214,282
負債合計	1,992,524	2,051,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,505	2,155,505
資本剰余金	2,057,304	2,057,303
利益剰余金	4,020,454	3,821,993
自己株式	△838,300	△838,300
株主資本合計	7,394,964	7,196,502
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	177,101	395,380
その他の包括利益累計額合計	177,101	395,380
非支配株主持分	3,027	1,463
新株予約権	—	7,184
純資産合計	7,575,092	7,600,530
負債純資産合計	9,567,617	9,651,709

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
売上高	10,080,348	9,886,864
売上原価	2,698,009	2,582,690
売上総利益	7,382,338	7,304,173
販売費及び一般管理費	6,956,051	7,352,838
営業利益又は営業損失(△)	426,287	△48,664
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,737	9,556
為替差益	—	171,590
補助金収入	30,917	—
その他	5,757	11,854
営業外収益合計	50,412	193,001
営業外費用		
支払利息	13,245	10,971
持分法による投資損失	12,805	—
自己株式取得費用	1,535	—
為替差損	104,550	—
その他	1,911	839
営業外費用合計	134,048	11,811
経常利益	342,651	132,526
特別利益		
固定資産売却益	414	—
特別利益合計	414	—
特別損失		
固定資産除却損	5,157	737
特別損失合計	5,157	737
税金等調整前四半期純利益	337,908	131,788
法人税、住民税及び事業税	159,662	132,231
法人税等調整額	△29,542	△29,121
法人税等合計	130,120	103,110
四半期純利益	207,787	28,678
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,555	△1,564
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,342	30,243

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
四半期純利益	207,787	28,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	—
為替換算調整勘定	△115,988	218,279
その他の包括利益合計	△115,988	218,279
四半期包括利益	91,798	246,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,354	248,522
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,555	△1,564

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	110,936千円	121,054千円
のれん償却額	21,399	21,399

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年8月1日 至 2025年4月30日）

当社グループは、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年8月1日 至 2026年4月30日）

当社グループは、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。